

U-22	ビル用マルチエアコンの冷媒配管	単位 mm
------	-----------------	-------

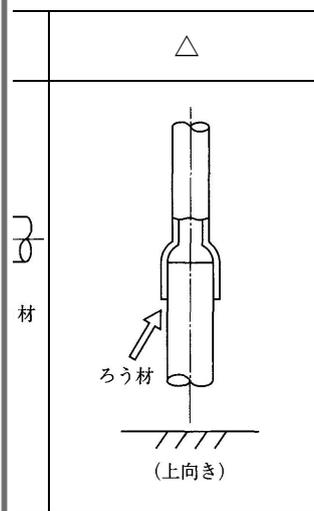
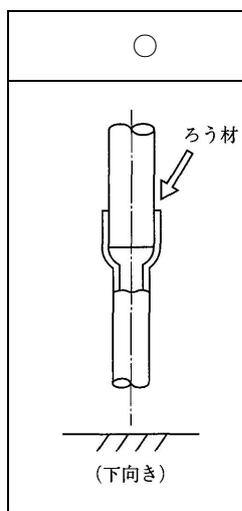
施工方法

(1) フラッシング

配管内の異物等をガス圧により除去するため、フラッシングを行う。

(2) ろう付作業

- ① ろう付けは下向きまたは横向きの方向にホストウにする。上向きはできるだけ避ける。
(漏れ防止)



- ② 液管、ガス管の分岐は必ず片側を閉鎖して行う（漏れ防止）。

- ③ 窒素ガス置換方法でろう付けを行う。

(3) フレア工法

- ① 硬化した配管をフレア加工機で加工する。

- ② 配管の切断は必ずパイプカッターを使用する。パイプカッターの大きいカッタを使用する。パイプカッターの刃を鋭く保つ（パイプカッターの刃を鈍くすると、金切粉が管内に落ちやすくなるので、管内に切粉がはらわないように注意する）。

- ③ 所定の範囲内のフレアサイズになるようにフレア工具をセットする。

- ④ フレアの外面には冷凍機油を塗っておく（フレアナットのすべりをよくすることにより、配管のねじれを防止する）。

(4) 気密試験

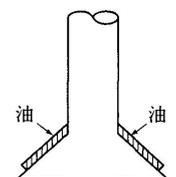
- ① 各冷媒系統ごとに液管、ガス管の両方より、ステップを踏んで徐々に加圧していく。

(必ず窒素ガスを使用する)

- ② メーカーの取扱い説明書により、圧力降下のチェックを行う。

付け方向・角度に注意する（油戻し、偏流を防止する）。

なましをしてから行う。パイプカッターの刃が大きい場合は、サイズを調整してから切断するとき、金切粉が管内に落ちやすくなるので、管内に切粉がはらわないように注意する。



(5) エアバージ

配管工事が終わったら、系統内からエアを追い出すためのエアバージを行う。

(6) 真空乾燥

配管内の水分を蒸気に変えて外部に放出し、配管内を乾燥させる必要がある（真空ポンプにより配管内気圧を下げ、沸点を外気温度以下に下げることにより、配管内の水分を蒸発させる）。

見

本